

CLIO meeting 議事録 (090108)

日時 : 2009-01-08 18:00-19:00

出席者 : 内山、宮川、我妻 (神岡)

三代木、大橋 (柏)

藤本、高橋、新井、辰巳、上田、和泉 (天文台)

鈴木 (KEK)

議題 :

資料は下記にあります。

<http://gw.icrr.u-tokyo.ac.jp:8888/JGWwiki/CLIO/Meeting/weekly>

1. 報告 (三代木)

Laser の不調は根本的な解消には至らず。

--> Innolight Mephisto 2Watt 出力の新規購入を検討中。

2. CLIO 作業報告 (宮川)

MC servo の改良中:

* HV amp. を使って Laser PZT のレンジを増やす。

-> 高周波での位相回りが問題なので、来週改造したフィルター回路導入。

3. ビームセンタリングジグ (新井)

デザイン、見積まで終了。--> 発注のための資料は三代木に渡した。

後は発注の指示待ち。

4. デジタル制御 (宮川)

詳細スケジュールの提案 -> 議論

2009年7月頃、1st step として Per Arm End への Mass 制御導入。

(聞き逃したが) 1st step では、何を達成したら成功?

今後の検討項目:

- * アナログ・フロントエンドの製作（どこまで外注するか？）
- * 直流電源のスペック・予算見積

5. ダンピング（内山）

詳細は [cliocore 00055] 参照。

タンデム・マイケルソンを 1 セット、CL10 へ導入。

backup plan として、反射型フォトセンサーか OSEM を準備。

backup plan の検討は、内山から担当者を指名して進めてはどうか。(by 辰巳)

6. Recoil Mass（内山）

詳細は [cliocore 00055] 参照。

Per Arm Near mirror にのみ、Recoil Mass を導入予定。

その他は、常温実験と同様のコイルボビン支持構造とする。

(コイルボビン、支持構造はこれまでの議論に従って作り直す。)

7. 低温実験に向けた Q 値測定（内山、鈴木）

詳細は [cliocore 00055] 参照。

最終段懸架用と同一ロットの純アルミ線について

Q 値測定を KEK 鈴木担当で行う。

次回議題：

発注関連の確認事項

- * 純アルミ線（今年度どれくらい発注するか?）
- * AIN コイルボビン（1: デザイン確定? 2: 何個作るか?）
- * コイルボビン支持構造（1: デザイン確定? 2: 4 台 or 3 台発注?）
- * ビームセンタリングジグ（今年度発注するか?）

ダンピング関連

- * センサーの backup plan 担当者決定
- * ダンピング用 coil-magnet actuator とその支持機構設計